

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【461】

2. 日時：令和5年4月18日 13時30分～14時20分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

皆川管理官補佐、岩崎安全審査官、伊藤原子力規制専門員

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他2名

電源事業本部 原子力耐震グループ 担当副長 他5名*

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 主任*

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 担当*

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁イワサキです。それでは本日の島根原子力発電所 2 号機の設 工認のヒアリングを開始したいと思います。早速ですけれども中国電力 の方から説明の方よろしく願います。
0:00:19	中国電力の仲西です。溢水防護についてご説明させていただきます。 まず資料の裁判からさせていただきます。
0:00:27	まず、一番がN-Sに岡 123 回 06、
0:00:33	S、
0:00:34	とナンバー2 がNS2.1033 回 03 です。
0:00:40	一応ナンバー3 がN-S2.1034 回 05 です。
0:00:46	資料ナンバー4 がNS2.103504 です。
0:00:51	資料ナンバー5NS2.1036 回 06。
0:00:56	最後に資料ナンバー6、N-S2、015 回 14 になります。以上で六つで す。
0:01:04	初めに、屋外溢水関係の評価について再評価を実施しておりますの で、その変更点についてまずご説明させていただきます、そこで一旦区切ら させていただきますその後、
0:01:16	その他変更点についてご説明をします。
0:01:21	では早速ですがご説明させていただきます。
0:01:25	あと、資料ナンバー6 の通しページ 1559 ページお願いします。
0:01:43	資料の 1559 ページです。6 ポツに屋外タンク等からの溢水評価になり ます。
0:01:50	屋外タンクの溢水評価において複数移動タンク等を水源とすることに変 更しておりと再評価を実施しておりますのでご説明をします。
0:01:59	1561 ページをお願いします。
0:02:03	1561 ページの表 6 ポツ 2-1-1、No.13 から 15 に、ちょっと今回土肥水 源として追加しました。
0:02:13	復水貯蔵タンク、補助復水貯蔵タンク、
0:02:17	トラス言うてるタンクを追加をしております。
0:02:20	各保有水量は 1800 トンになっておりと溢水伝播挙動評価に用いる溢水 量としましては、藤 1800 の保有水量 1.1 倍した 1980 を、資料としてお ります。
0:02:34	ただ、ここで復水貯蔵タンクにつきましては、1980 立米が間瀬の保有水 を 1.1 倍した値ですが、当庁過剰は 2200 立米を水源として考慮してお ります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:47	続いて次のページの 1562 ページをお願いします。
0:02:53	ナンバー41 から 44 に、20 立米以下の小規模タンクですが、四つほどとコールできてないものがありますので合わせて記載を追加しております。
0:03:05	こちらは 20 立米以下のタンクでして、
0:03:09	土肥水源とするタンクの、先ほどの 1.1 倍ですとか余裕指導分に、溢水伝播ちょっと評価上考慮できてることを確認しておりますのでおります。
0:03:21	続いて 1565 ページをお願いします。
0:03:29	1565 ページに溢水伝播挙動評価のうち、溢水事象の設定についてご説明をします。
0:03:36	あと溢水伝播の設定に当たりまして復水貯蔵タンクと補助復水貯蔵タンクトーラス水受入タンクと、その射撃の損傷形態の評価を実施し、大きく損傷がないことを確認しておりますが、
0:03:49	評価の不確定な要素を踏まえて、タンクに接続されるすべての配管の完全全周破断を模擬したように、
0:03:57	考慮しております。
0:03:59	1566 ページをお願いします。
0:04:03	上の図、図の 6 ポツ 2-3 の損傷形態の概要のところですね真ん中のところに、丹君、先ほど申した三つのタンク、
0:04:14	先ほどの損傷形態をどのように考慮しているかを概要図を追加しております。地震による損傷をタンクに接続するすべての配管が完全全周破断するとして、タンクの底部から、溢水を当評価上も利用しております。
0:04:29	続いて 1568 ページをお願いします。
0:04:35	1568 ページからが、図 6 ポツ 2-5 に、屋外タンク等の溢水伝播挙動の図を記載をしております。左上から、
0:04:45	5 秒 10 秒 20 秒 60 秒へと次のページをお願いします。
0:04:51	1569 ページですと、都築の 120 秒 304 万 1200 秒までと一斉の電波を青の字で、青色でお諮りをしております。
0:05:06	続いて、
0:05:08	あと 1578 ページをお願いします。
0:05:17	あ、すいませんちょっと間違えました。ちょっと訂正いたしません。573 ページお願いします。
0:05:25	失礼しました。
0:05:26	1573 ページからが、
0:05:31	建物の付近の浸水の浸水時刻歴をと記載しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:37	溢水伝播挙動評価は 60 分としておりますが、現時点の速報値として 20 分までの評価値を記載をしております。
0:05:47	1578 ページをお願いします。
0:05:52	1578 ページの表 6 ポツ 2-5 に、デービー建物の速報値の最大浸水深を記載をしております。
0:06:01	続いて 1590 ページをお願いします。
0:06:06	1590 ページに SA 建物の最大浸水深を示しております。
0:06:11	今回お見せした速報値の評価につきましては、それぞれの最大浸水深が建物と設置位置を越えて、溢水防護区画に伝播しないことを確認しております。
0:06:24	最終的なチェックにつきましては次回のヒアリングで、
0:06:29	内容を反映し、ご説明したいしております。
0:06:33	屋外水ガーデン 2 課につきましては、以上です。
0:06:43	はい、ありがとうございます。規制庁岩崎です。はい、ありがとうございました。
0:06:47	それでは、今の説明に対して質問等ございましたら、
0:06:57	それではですね。
0:07:04	今回、規制庁イワサキ今回速報値で出させていただいて、
0:07:10	ているんですけど、
0:07:12	議会の
0:07:14	説明の時には、今評価中になってるやつも、評価が出てくるんですかそれとも今速報値ってなってるやつ、
0:07:24	60 分までの評価が出てくる。
0:07:26	ですかね、どちらでしょうか。
0:07:31	中国電力の仲西です速報値としているものも評価中としているものもすべて一時 60 分の結果をお見せする予定です。以上です。
0:07:43	きちっとイワサキです。はい、わかりました。
0:07:49	最終的な評価が終わった場合その評価の前後の比較みたいなものも、あわせて説明されるという認識でよろしいですか。
0:08:04	中国電力の仲西です。はい。変更点ですとか、影響の大きいところにつきましては考察を、
0:08:12	含めてご説明する予定でございます。以上です。
0:08:16	規制庁イワサキですはい。それでは引き続き評価させていただいて整った段階でまた詳細に説明していただければと思います。
0:08:26	他は何かございますでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:34	規制庁皆川ですちょっと教えて欲しいんですけど。
0:08:39	含め、個別の予定でございます。以上です。
0:08:45	⑥の資料の 1561 ページ以降、オクがEタンクの水源のところ、
0:08:53	の見方なんですけど、
0:08:55	ここにその保有推理を、
0:08:59	であると思うんですけどこの保有水量は、上限っていう理解でいいんですしたっけ。
0:09:14	中国電力の仲西です。すいません最後のところが少し値、聞き取れなかったのもう一度お願いいたします。すいませんこの表上の保有水量っていうのは管理上の上限値。
0:09:27	を示してるっていう理解でいいんですしたっけ。
0:09:34	中国電力の仲西です。まずこのタンクに書いてる保有水量は、公称値山田オーバーフロー配管の量ですのでそれぞれが入る量になっておりまして、
0:09:46	一部復水貯蔵タンクと補助復水貯蔵タンクトーラス水受入タンク等につきまして、公称値よりか、管理した値を 1800tと書いておりますので
0:10:00	公称値実際に配慮よりか、減らして管理しているものとMACCS入るものが、今混在した記載となっております。以上です。
0:10:10	皆川です。わかりました。確認したかったのが、
0:10:15	その右側の溢水量の実際の評価ちいで、
0:10:21	復水貯蔵タンク食うとカトウ炉水受け入れたん食うとかそのお湯によるよりも保守的に、
0:10:28	やってると思うんですけど、これ保守的にやってる理由って教えてもらっていいですか。
0:10:35	中国電力の仲西です。
0:10:38	この保有水量に対して、1.5 倍 1.1 倍の係数倍をして保守的にやっている理由としましては、ちょっと今この 1561 ページで申しますと、
0:10:50	この表の 3 分の 1 は、表の右から 3 番目のエリア 1 というエリアになっております。で、
0:11:00	No.16 から 22 っていうものが小規模タンクでしたり、もう山のすごい高いところにあつてですね、電車建物がかなり距離があるような、
0:11:11	タンクにつきましては、溢水伝播挙動評価に考慮して、解析のモデルとしては考慮しておらず、
0:11:19	その溢水量を 1.1 倍とか 1.5 倍ですとか、考慮した中に包含できることを、を考慮しております。ですので、水田を、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:30	係数倍することによって他の小規模タンクの量を考慮しているという評価を実施しております。
0:11:36	以上です。
0:11:43	ミナカワととりあえず考え方はわかりました。考え方わかったんですけど、
0:11:51	ちょっともう1回教えて欲しいんですけど、今回ってこの13から15加えただけなんですよね。
0:12:03	中国電力の仲西です。今回はですね
0:12:08	1562ページ、次のページの41条から40条のタンクにつきましても、20トン以下の小規模短かいと追加して、
0:12:19	これまでの余裕分に含まれていることを確認しております。
0:12:24	以上です。
0:12:27	中国電力のナガタで少し補足をさせていただきます。
0:12:32	ですので解析としてはですね、解析として制限に追加したのは、復水貯蔵タンクと五藤の3タンクでございます。先ほど仲西が申し上げました、
0:12:44	1562ページは、
0:12:46	小規模なものですので、
0:12:51	いや余裕しろと言いますか
0:12:55	1.1倍とか1.5倍したものに包含されるということを確認しましたということです。それから、先ほど来説明してますが1564ページご覧いただきますと、
0:13:08	ここにエリアの先ほどの番号があります。発電所構内のですね、尾根とか谷とかそういうものを下考慮いたしまして、
0:13:19	どのエリアにどう、どの、どういう水が流れていくかというので、エリアを区分して、その中をエリア1とか、グループ、
0:13:28	にしてですね評価をしているというものでございます。以上です。
0:13:36	皆さんととりあえず考え方はわかりました。
0:13:41	私からは以上です。
0:15:23	規制庁岩崎です。ごめんなさいちょっと
0:15:27	1562ページの33番ってこれ黄色ハッチングだったんですけど、これで、ただで255次を直ただけなんですかね、減水受けそうっていうんですかね。
0:15:41	中国電力の中に施設説明できない。申し訳ありません。名称を適正化いたしました名称のみの変更になります。以上です。
0:15:52	清杉沢わかりましたはい、ありがとうございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:03	はい。あとは、
0:16:08	規制庁ミナカワちよつともう1点教えて欲しいんですけど、
0:16:32	少々お待ちください。
0:16:38	あ、ごめんなさい 1566 ページ。
0:16:43	図の 6-2-3 で、損傷形態の概要図っていうのがあって、
0:16:49	復水貯蔵タンクとか復水町補助復水貯蔵タンクとかトラス水受入タンクは、
0:16:57	配管が完全全周破断するてするとしてタンク底部からの溢水を模擬してますってあるんですけども、
0:17:05	これでどれくらいの期間で全部が一
0:17:12	外に出るっていう想定なんでしょうか。
0:17:19	中国電力の仲西です。少々お待ちください。
0:17:37	中国電力の中西です。えっとですね、都会まず、少しちよつと丁寧にここでご説明します。イスイの解析。
0:17:47	この電波挙動解析としてはタンクの完全全周肌を考慮してします。まず初めの 60 秒間は、
0:17:58	地下ダクトがありますので、ダクトに 60 秒間溜まっていきます。約 300t から 400t ぐらいのようはなので、その分がたまります。1 分後に残り 5600 トンが、
0:18:11	残り分 5100200 トン分が流出することになります。時間にして大体。
0:18:18	2200 秒。
0:18:21	200 票ですので、
0:18:23	大体 30 分 40 分程度で、水のタンクのすべて流出が終わるといって、条件になっております。以上です。
0:18:36	あ、ミナカワでサノを考え方わかりました。はい。
0:18:40	私から以上です。
0:18:54	規制庁岩崎です。はい。
0:18:57	それでは、
0:18:59	次の説明に移って、
0:19:03	確認し、
0:19:06	あ、すみません規制庁ミナカワすみませんちよつとあれですけど今のこの丹空の漏えい形態みたいな今の今説明があった話でこの補足説明資料上どっかに記載ってありましたっけ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:21	中国電力の仲西です。先ほど申した近田クドウにたまるですとかそのような記載が今できておりませんので、次回、補足説明書の中に5月9日のヒアリングでお持ちする予定となっております。
0:19:34	その時にご説明させていただきます。以上です。はい、それではよろしく願います。はい私から以上です。
0:19:48	規制庁岩崎です。それでは一旦この説明のコメントと私的な確認に移りたいと思いますが、
0:19:59	5人pよろしいでしょうか。
0:20:08	中国電力仲西少々お待ちください。
0:20:56	中国電力仲西です共有できてますでしょうか。
0:21:02	はい、見えております。
0:21:06	中国電力仲西です。読み上げますのでご確認をお願いします。まず一つ目ですが、伝播挙動解析について、前回結果と比較し考察を説明することです。
0:21:18	はい、大丈夫です。
0:21:22	はい。次に行きます、タンクの流出条件について説明することダクトの流入を、
0:21:29	タンクの流出条件や塗膜等の流入航路等について説明することです。
0:21:37	OKです。
0:21:43	中国電力の田村です。1ポツの方は前回評価との比較になりますので、
0:21:51	結構細かなところも、モデル化の変更とかご説明させていただいたり考察させていただこうと思っております。
0:25:14	規制庁矢崎です。それでは引き続き、説明の方よろしく願います。
0:25:23	中国電力の仲西ですでは、続いて
0:25:28	その他変更としまして要目表のヒアリングでも一部ご説明させていただいておりますが、設計進捗等を踏まえた防護すべき設備の、
0:25:38	機能喪失高さ、設置区画が一部変更となっておりますので見直しております。その変更を踏まえて、溢水評価も、すべて反映しておりますので、
0:25:49	その再評価結果と、またその他、適正化を実施しておりますので、その再評価結果をそのたびに説明いたします。
0:25:57	あと、資料ナンバー6の1610ページをお願いします。
0:26:05	資料6の1610ページです。
0:26:10	ただこそ溢水防護区画ごとにおける機能喪失高さです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:16	こちらの表をもって説明します。ページめくっていただいて 1614 ページをお願いします。
0:26:25	こちらの表 7 ポツ 1-1 は、建物ごとに、溢水防護区画とそこに設置されている設備、防護すべき設備外機能装置高さ、または区画内で
0:26:38	溢水防護上の配慮 1 高さというものを整理した表になっております。
0:26:42	この 1614 ページ、区画内で一部のページで先ほどの変更の具体例を申しますと、真ん中中段のRB2F09Nというところの、
0:26:54	時時期が、土地の装置高さが 0.15 に変更しております。それに伴って一番右の列の溢水防護上の配慮必要高さも、0.1 度に変更となっております。
0:27:07	こちらも含めてという目標と整合をとるようにしております。
0:27:12	続いて、資料ナンバー2-37 ページをお願いします。
0:27:29	資料ナンバー2-37 ページです。こちらの説明書となります先ほどは、補足説明資料の土佐、資料ですが、こちら説明書の変更箇所についてご説明します。
0:27:42	37 ページから、小児のように、デービー設備の、
0:27:47	溢水防護対設備のリストを示しております。
0:27:50	ページめくっていただいて、39 ページをお願いします。
0:27:55	39 ページ中段に変更箇所、こちらの、
0:28:00	防護対設備と設置角を整理したもので設置区画が変更となったものについて、
0:28:05	そっちのハッチングですと、示しております。
0:28:08	57 ページをお願いします。
0:28:15	57 ページからが
0:28:18	Ss設備のリストになります。ページめくっていただいて 59 ページをお願いします。
0:28:25	59 ページの一番下、MV21-34 につきましては設置規格が変更になっておりますので、変更しております。その他変更点も黄色ハッチングでお示しております。
0:28:39	続きまして、資料 3 の、
0:28:43	資料ナンバー3 の 6 ページをお願いします。
0:28:51	続きまして問水評価条件を一部変更しておりますのでご説明をします。
0:28:58	資料ナンバー、あ、すいません、資料の 6 ページ、表 2-4 に破損想定を不要とするエネルギー配管の応力評価結果の表を示しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:08	破損をしようとする低エネルギー配管として、黄色箇所ですが、FP配管消火系配管。
0:29:15	と、
0:29:17	あと原子炉補機冷却系と低圧原子炉代替注水系の3、三つの系統につきまして、登録除外の評価を追加をしております。この評価結果を反映しました。
0:29:29	また、表の真ん中辺りの列ですが、一次＋二次応力というところに機械荷重というものを今回一度ハッチングで記載をしております。
0:29:39	以前は、
0:29:41	これまでの評価では機械荷重の値がすべてゼロでしたので、とは発生しないため、記載を省略する旨の説明文を追加しておりましたが、
0:29:52	表の一番下、2分の1の6ページ一番下の低圧現象代替注水系の評価の中で、機械荷重が発生したものが出てきましたので、
0:30:02	今回、機械荷重の省略する説明文を消して、項目を追加しております。
0:30:11	続いて資料。
0:30:13	ナンバー4-3ページをお願いします。
0:30:27	資料ナンバー4の3ページです。
0:30:30	当庫。
0:30:31	ここからが、溢水の再評価結果の反映箇所になります。
0:30:36	藤先ほどご説明した防護すべき設備の機能装置高さ設置区画、それと、
0:30:43	破損想定を除外する系統の追加を踏まえた再評価結果を示しております。
0:30:50	まず表の2-1に、
0:30:52	漏水評価結果を示しております。
0:30:55	めくっていただいて17ページをお願いします。
0:31:01	17ページから被水影響評価結果です。
0:31:05	続いてめくっていただいて、
0:31:08	38ページをお願いします。
0:31:14	38ページからいうと蒸気影響評価結果になっております。いずれの
0:31:19	評価につきましても、判定、
0:31:22	探偵基準、
0:31:24	満足することを確認をしております。
0:31:29	続いて、
0:31:31	資料6の206ページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:39	資料ナンバー6 の 200、通しページ 206 ページです。
0:31:50	206 ページの絵は 5 ポツ 5 図 5、想定破損による溢水に対する溢水評価結果で先ほど、
0:31:58	説明書側で説明した資料の詳細結果になります。
0:32:05	簡単ですが、ご説明しますページめくっていただいて 207 ページをお願いします。
0:32:11	こちら想定破損による評価ですので、一番、表の左上に 107 ページの、
0:32:17	上側に 1 冊、学部、今回RDF01Nの絵とRHRS、
0:32:24	回数減としたと想定破損の評価結果の後判定をとずつ言います。
0:32:30	207 ページからが、想定破損、
0:32:33	の評価結果。
0:32:35	続いて、978 ページ。
0:32:38	お願いします。
0:32:43	978 ページからが窪田の消火水の放水に対する溢水影響評価になります。
0:32:49	続いてですが、1094 ページをお願いします。
0:33:02	1094 ページは、消火水の放水の評価の取りまとめのSAの取りまとめですが、
0:33:11	今日、
0:33:13	のタイトルですが表 5 ポツ 8-1 のところですが、消火水の、の下の違いと間違っておりますので、
0:33:21	今後適正化をして野田再度出させていただきたいと思います。
0:33:27	続いて 1550 ページお願いします。
0:33:36	1550 ページからが地震起因による溢水に対する評価結果になります。江藤 2 信金は、複数の同時破損を考慮しているのでHSとしては、
0:33:47	その地震が起こった 1 ケースですので、
0:33:50	評価結果者 1、それぞれ 1Sになっております。
0:33:56	いずれの評価結果につきましても、判定基準、
0:33:59	多重性多様性の観点から
0:34:03	安全機能が同時に機能喪失しないことを確認しておりますので、影響がないことを確認しております。
0:34:11	以上が防護すべき設備と水の処理について、
0:34:14	の変更に伴う再評価結果の変更箇所のご説明です。続きまして、その他変更事項についてご説明をさせていただきます。
0:34:26	資料ナンバー5。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:28	17 ページをお願いします。
0:34:37	資料ナンバー5-17 ページです。ここからはその他の適正化の説明になります。
0:34:43	資料ナンバー5-17 ページは、図 4 の中の貫通部指示処置を実施する箇所 19 分のページです。
0:34:51	図の、
0:34:52	左上、上の図の左ですEL1900500 と書いたさらにその上に、小さい区画がああ図があるんですが、
0:35:02	こちらの貫通面積の範囲を載せているんですが、階段室の示してる箇所が、少し間違っただめに、範囲として塗ってたので削除しております。
0:35:14	貫通部止水措置箇所が、はい。誤ったところ、またその適正化になりません。
0:35:20	続いて資料 6 の 124 ページをお願いします。
0:35:30	指導 6 の 124 ページです。
0:35:37	2 ポツ 4 想定破損における減肉の考慮です。
0:35:46	と。
0:35:47	想定破損を除外すべきイトウとして、今回低圧原子炉代替注水系を新たに追加しましたので、ジェネリックの航路にも追加をしております。
0:35:57	124 ページの下の表に 2 本表 2 ポツ 4-2、破損を想定フロー図とエネルギー配管として、
0:36:06	低圧原子炉代替注水系の材料はステンレス小になります。
0:36:11	125 ページをお願いします。
0:36:14	あと、今回追加しました低圧伝承代替注水系はステンレスですので、減肉の管理の中の肉厚測定の代表、
0:36:24	ではないことから地裁とコールの追加のみになります。
0:36:31	続いて次のときです。
0:36:35	127 ページをお願いします。
0:36:39	127 ページが 4 ぽつ地震起因による溢水評価です。
0:36:48	と地震起因による溢水償還分家と、
0:36:51	本資料で言う水源とする機器配管、水源としない機器配管というものを整理しております。その中で、地震起因による溢水評価のうち、溢水としない。はい。
0:37:04	その中で、金利推移しておりますので説明します。
0:37:09	147 ページをお願いします。
0:37:16	あと 147 ページの表 4 ポツ、1-3-1 水源としない配管です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:22	今回黄色Dと変更した箇所につきましては、
0:37:27	区画の中で一部のみ、Ss機能維持につきましては、依然として稲井というものがありましたが、その区画の中で一部というものが、
0:37:39	適切に水源としない配管の表に反映できておりませんでしたので今回適正化をさせていただきます。
0:37:48	と、その反映が 147 ページから、
0:37:54	152 ページまで、153 ページを廃止しておりますので 152 ページまでと軌道着色で反映をご説明しております。
0:38:03	続いて、159 ページをお願いします。
0:38:10	こちらは、
0:38:12	燃料プールのスロッシング関係の資料の誤記の訂正になります。
0:38:17	159 ページの図 4 ポツ 3-3 の中に、
0:38:23	スロッシングの固有周期、燃料プールと電子のベルトDSPの衛藤固有周期をそれぞれの記載をしておりましたが、
0:38:33	ちょっとず、この数値周期のデシベルと技術の衛藤向後式の数値が、動きがありますので今回修正させていただきます。
0:38:43	続いて、1661 ページをお願いします。
0:38:48	こちら最後になりますが、1661 ページの 7 ポツ 4 貫通部視処置に関する健全性の資料です。
0:38:57	と、まずこのAとなく、
0:38:59	1661 ページにつきましては、
0:39:04	文章のわかりやすさの観点から表現を適正化しております。
0:39:09	続いて、1663 ページをお願いします。
0:39:17	5663 ページから、貫通部リスト。
0:39:21	があります。そちらが 1663 ページから 1767 ページの約 100 ページほど続いています。
0:39:30	今回この貫通部リストにつきまして、設置の進捗としまして、対象会社の追加、施工方法の変更を反映しております。
0:39:40	また対象貫通部を見直すに合わせて、重複して、
0:39:45	同じ箇所をと書いた箇所がございますのでその箇所については削除させていただきました。
0:39:52	桂川の説明は以上となります。
0:39:59	規制庁イワサキですはい、ありがとうございました。
0:40:07	ちょっと確認なんですけど、
0:40:13	1610、資料 6 番の 1610 ページからの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:20	この機能喪失高さの変更っていうのは、これは設計進捗に伴う、
0:40:30	変更です。
0:40:33	それとも何か高くしなきゃいけなくなった。
0:40:37	ごめん、高くなった方が低くなったかちょっとわかんないんですけども、
0:40:41	高くしないで行ってなかった理由とか何かあるんですかね。
0:40:49	中国電力の中西です。機能喪失高さの変更につきましては評価に伴って高くしないといけないというものではなくてですね。
0:40:59	設計の進捗で同じ部屋でも、SA設備が作っていったところが少し高さ が変更していたですとか、少し
0:41:09	移設していたというものが、ちょっと適切に反映できないものと、もござ いましてので、反映したものでございます。評価に伴って把握しないとい けなかったというものではございません。
0:41:22	以上でございます。
0:41:23	規制庁イワサキ座わかりましたから実際に即した数字にしましたってそ ういうことですね。わかりました。ありがとうございます。
0:41:49	あごめんなさい同じようなところなんですけど、
0:41:55	2 番の 6、60 ページとかの、ここの辺の
0:42:00	設置高さとか設置区画もこれは別に変更したわけじゃなくて、実際に即 したところに直しましたってそういうことですかね。
0:42:12	中国電力の中西です。その通りです。先ほどの資料 6 番の 1610 ペー ジの資料が、補足説明資料、
0:42:23	2Aとなっているんですけども、このリストも、説明書側のリストとして 同じものが記載しておりまして少し整理と見せ方が違うような資料にな ってございますが、
0:42:35	内容は同じものを反映しております。以上でございます。
0:42:44	KKイワサキですはい、わかりました。
0:42:55	資料 3 番の、
0:42:59	6 ページからの発送ん想定不要とするT2 配管能力評価結果。
0:43:07	と、
0:43:09	これちょっと私がよくわかってないだけなのかもしれないんですけど、これ は、
0:43:17	今回改めて不要なところ、
0:43:23	評価した結果、
0:43:26	不要になったってエネルギー配管が出てきたから追加したっていうこと でしたっけ。ごめんなさいちょっともう一度説明お願いしますか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:37	中国電力の中西です。えっとですね。
0:43:40	この6ページの、破損想定不要とするとエネルギー配管というまずものは、この表に書いております応力評価。
0:43:50	というものを実施をすれば、想定破損、
0:43:54	の、考慮しなくてよいと、想定破損で、配管を破断させた、評価をしなくてよいというものになります。こちらにつきましては、
0:44:05	今回の評価で、新たにアンケートを追加して、一応評価、
0:44:12	一応考慮しないような対応をしたっていうものでございます。
0:44:16	以上です。
0:44:19	きちっとイワサキ際、わかりました。あれ、ごめんなさい。
0:44:22	その応力評価の結果っていうのは、
0:44:28	聞き電側とかで御説明が、
0:44:31	今回ここに追加されたとかっていうことで、綺麗な、大変なのかな。
0:44:37	てことですかね。
0:44:43	中国電力の仲西です。すいません。ちょっと少し聞き取りづらかったのもう一度お願いします。
0:44:49	ごめんなさい今回この低エネルギー、外は外不要とするとエネルギー配管の
0:44:58	応力の結果っていうのは、
0:45:01	これが応力評価の結果なんですかね。
0:45:09	中国電力仲西です。すいません少し説明ができてなかったところがありますので、ちょっと追加で説明させていただきます。表に書いておりますのは評価結果のまとめでございまして、
0:45:21	資料ナンバー6の74ページをお願いします。
0:45:30	資料ナンバー6の74ページに、2ポツ3に購入時配管、本紀及び低エネルギー配管の応力評価という補足説明資料をつけております。
0:45:42	こちらで、
0:45:45	ページで申しますと、
0:45:52	116ページです。
0:45:55	説明書側には評価結果のまとめのみを書いておりましてこちらで評価のモデルとちょっと細かいところも、
0:46:04	載せて、
0:46:05	おります。
0:46:07	こちらもHead評価結果になります。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:25	きちっとイワサキサ、ごめんなさいちょっと私があんまりわかってなかったんですけど。
0:46:30	今回この破損想定不要、
0:46:37	とする、するためについて言い方もあるんですけど、
0:46:40	だから、
0:46:42	改めて、この追加した。
0:46:47	ものの
0:46:51	ここ、ごめんなさい、今回追加したやつを、
0:46:54	だって応力評価したので破損想定不要としました。そういうことですか。どっかの何かの羽根でこうなったんじゃないくて、
0:47:04	今回改めて応力評価をして、発動で不要、
0:47:08	とします。
0:47:10	そういうことですか。
0:47:12	中国電力の仲西です。す。他のどこかの影響で、水で、
0:47:19	応力除外をしなくないといけなくなったというような羽根ではなくて、内部溢水防護の評価として、この系統については想定破損の評価の対象が該当するために、
0:47:31	応力評価を追加したものになります。以上です。
0:47:38	規制庁イワサキサあごめんなさい。わかりました。すみませんありがとうございます。
0:48:27	規制庁矢崎ですあと私からは以上ですが、
0:48:33	はい。
0:48:34	わかりました。それでは確認は以上となります。
0:48:41	何か追加でご説明することありますか。
0:48:50	中国電力本社はありません。以上です。
0:48:58	携帯先ですはい。わかりましたそれでは本日のヒアリング終了したいと思います。
0:49:05	後半の、ごめんなさい説明に関しては、特段私が確認しただけで、指摘に残るものはないという認識でおります。よろしいですかね。
0:49:18	中国電力仲西です。了解いたします私どももその認識でございます。はい。以上です。
0:49:26	市長岩崎です。はい、わかりました。それでは本日のヒアリングを終了したいと思いますありがとうございます。
0:49:34	はい、ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。